

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁ドーナツ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2026年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2026年 2月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自己選択・自己決定の場を提供できている。	あらゆる場面で自己決定するシチュエーションをつくっている。(毎日のおやつ選択・工作制作時の材料選択・気分が乗らないときの活動の選択等)	数種類の活動を準備し、お子様に決めてもらい活動を楽しむ。
2	外出行事	年齢やお子様の好みを考慮し外出先を検討している。外出先でのルール・マナーを学べるよう意識して取り組んでいる。買物学習では自己選択、自己決定のほか支払いの学習もできるので率先して取り入れている。	チーム別の外出 チームごとに先行やルートタイムスケジュールなどの計画し準備段階からチャレンジする。
3	調理レク	大皿料理から、自分の手で握るおむすび・おやつ作りまでチャレンジしている。偏食のあるお子様にも作る喜びを体験してもらっている。	お子様たちの作った料理を保護者様にふるまう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内環境の整備	限られた環境ではあるが、上手く活かしきれていない。	家具などを移動し模様替えを行う。
2	保護者様同士のかかわりの場を提供できていない。	事業所が手狭なことを理由に、取り組むことをあきらめている。	児発と放デイを分けての保護者会の開催。堅苦しくならないようにお茶会からはじめ、交流を図る場を設ける。
3			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	緑ドーナツ		公表日		2026/2/27	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	児童の人数や年齢によって活動場所を別々日している。	利用者が多い時はクールダウンが難しい。体の大きいお子様にとっては手狭。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	定員・特性・活動内容に対し5~7名配置するようにしている。	職員配置が十分でないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	扉を外したり、活動を1・2Fに分けて対応。トイレについては、タイミングを見て声掛け誘導している。限られた環境の中で試行錯誤している。	収納スペースが足りず、ヒヤリハットの可能性につながると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	ぶつかり合わないよう、児童と放デイでエリアを分けて活動するようにしている。清掃を欠かさず行い衛生的な環境を保つよう努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	活動内容により、2Fの指導室を開放している。	完全に区切って対応することが難しい日も・・・。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎月、事業所および職員個々の目標を決め振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年行っている。保護者様・職員から出た内容を共有し業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	毎朝ミーティングで情報共有に努めている。また、ざっくばらんな環境で話し合いができています。	全員かそろい話し合える場がない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎朝ミーティングで情報共有に努めている。また、ざっくばらんな環境で話し合いができています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	全職員で意見を交換しプログラムを作成・公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	直接支援にかかわる職員の意見を聞きながら作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	保護者様の思いをもとに、直接支援にかかわる職員と意見を交わしながら方向性を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	支援の共有ができるよう、支援連絡ノートの活用とミーティングをこまめに行っている。	共有する機会がすくない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	標準化されたツールを共有し、お子様の適応行動の状況把握に努めている。	標準化されたものが欲しい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	全てのお子さまの個別支援計画に記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	活動内容についてはその日の担当が考えるが、内容については全職員が把握し役割分担の中支援している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	毎日違う職員が活動を考え多方面からアイデアを出し合っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	特性を考慮しながら、個別・集団活動に取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝ミーティングで打ち合わせを行っていますが、送迎等で席を外しているときは必ず、日案リーダーが主となって情報共有に努めています。	送迎等で情報共有できないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援連絡ノートやヒヤリハットを活用し情報共有に努めている。	送迎等で情報共有できないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	ご利用日の記録のほかに、専門的支援についても記録に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	保護者様からの相談についてもその都度対応している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	活動内容の偏りがないう月間の予定を組み支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	おやつや複数選択・制作時の色や筆記用具の選択、座席の選択・活動の選択等あらゆる場面で自己決定できるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児発管以外に直接支援にかかわる職員も含め数名での参加や、意見を集約して会議に臨んでいる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	各関係機関と情報共有し協力しながら取り組んでいる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	学校・保護者様から常時連絡をいただいている。連絡調整は常に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	行なっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	今後研修参加してみたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	児童館や公園、公共施設を利用し交流できる機会を作っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	参加職員に偏りがないう、状況が許す限り研修参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時・連絡帳・line・電話・面談等で共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	保護者向けの研修等があるときは、お手紙を配布している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時にお伝えしている。 疑問点・不明点等あるときにはその都度お伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	取組んでいる。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	取組んでいる。保護者様からのご希望時、いつでも対応できるよう体制を整えている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6	保護者様のご希望を確認し、今後開催を検討予定。	手狭ということもあり開催するのに躊躇している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	誠意をもって対応している。状況を確認後事実を隠すことなくお伝えするようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	SNSでの発信はしていないが、毎月のドーナツだよりは発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きの書庫に保管し管理者が管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	マカトンサインや簡単な手話・絵カードを利用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	建物の構造上困難なため、外出を多く取り入れている。近隣の方との関係は良好！	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	毎月テーマを決めて避難・防災訓練を行っている。（不審者・地震・火事・水害/降雪）消防署立ち合いの避難訓練を年2回取り組んでいる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	毎月テーマを決めて避難・防災訓練を行っている。（不審者・地震・火事・水害/降雪）消防署立ち合いの避難訓練を年2回取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に詳しく話を聞いている。医療情報を共有させていただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	必要に応じて相談させていただき、意見書・同意書を交わし対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	計画の作成及び計画に沿った研修・訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	年度初めに保護者様に向けて配布。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	している。ヒヤリハット報告書を共有し大きな事故につながらぬよう意識を高めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止・身体拘束適正委員会を設置し、法人内研修のほか、県の研修に参加し事業所内でフィードバックしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	会社全体で研修・訓練を行っている。契約時に詳しくお伝えし支援計画書に記載している。		